

湘南倶楽部 ESH清掃活動再開の日(2021.11.27)

湘南倶楽部 石塚 洋(東芝OB)

2021年11月27日(土)、「湘南倶楽部エリザベス・サンダース・ホーム(以下ESH)の清掃活動」が再開されました。

昨年3月以降コロナ緊急事態宣言発令でESH園内清掃活動は休止していたので、何と1年10か月ぶりの再開でした。

当日午前10時、17名の仲間が入り口での「検温」「手指消毒」を済ませ、澤田美喜記念館玄関前に元気に集い、久々の再会に“歓喜のあいさつ”を交わしました。

早速事務局より当日の作業方法とエリアについての説明を受け、新規加入会員の自己紹介後、3班に分かれ作業が開始されました。「記念館周辺の落ち葉掃き」「30段ある記念館の石段清掃」「記念館正門入り口：踊り場の除草作業」を行うことになりました。

落ち葉は時節柄、記念館周辺を埋め尽くす程の積もり様でした。記念館のある丘の上は少々風もあり折角集めた落ち葉が逆風に吹き飛ばされるハプニングもあったり、根の張った雑草抜きに思わぬ労力を費やされました。

しかし、右に“雪に覆われた霊峰富士”、左に“青い海に浮かぶ江の島”を眺めながら、和気あいあい笑い声が絶えず、快適に作業は進みました。1時間弱の作業で記念館周辺は見違えるようにきれいになり、何処からともなく「やった！」との歓声が上がりました。

11時から記念館内にある礼拝堂をお借りし、参加者全員で「ウィズコロナ」、「アフターコロナ」下での望ましい活動について意見交換が和やかに進められました。

「当分、子供たちとの接触を避け、記念館周辺の美化清掃を続けよう」との結論に至りました。

コロナは人と人の絆を分断しました。しかし「湘南倶楽部の仲間意識は分断されることはなかった」と感じさせられる作業となりました。

以上



澤田美喜記念館前にて



礼拝堂をお借りしミーティング